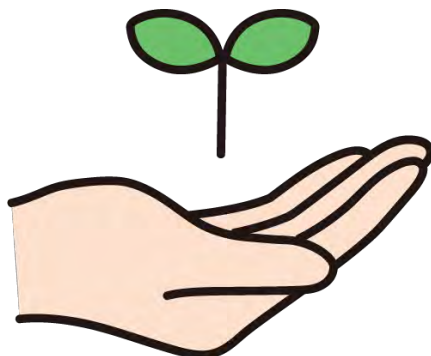


長崎大学 子どもの心の医療・教育センター

令和6年度（2024年度）

子どもの心の支援にかかわる 高度人材育成プログラム

受講生募集



子どもの心の医療・教育センターは、長崎県内の子どもの心の支援を目的とし、2016年10月に長崎大学に開設されました。当センターでは、地域と連携した子どもの心の高度人材育成およびネットワークの構築を目指した取り組みを行っています。

「子どもの心の支援にかかわる高度人材育成プログラム」では、現在受講対象を全国に拡大し取り組んでいます。

本件に関する
問い合わせ先

長崎大学 子どもの心の医療・教育センター

✉ e-mail kodomonokokoro@ml.nagasaki-u.ac.jp

🖨 HP <https://www.cme.nagasaki-u.ac.jp>

▼センターHP▼



子どもの心の支援にかかわる高度人材育成プログラム

長崎大学 子どもの心の医療・教育センターでは、発達障がい等による子どもの心の問題を支援する一策として、子どもにかかわる専門職の支援能力向上・キャリアアップを目指し、教師や保育士、療育関係者等に発達障がいや特別支援教育、医療的な支援に関する教育プログラムを提供しています。

● プログラムの概要

子どもの心の問題を早期に的確に把握し対応する能力、関係機関や保護者と連携する能力を身に付けることを目指します。



■ 学習は**全てeラーニング（オンライン）**で実施します。

インターネットを利用し、受講サイトに公開された講義動画を視聴して学習を進めていきます。就労されている方でも時間や場所にとらわれず、自分のペースで受講することができます。

各領域で活躍している講師や当センター教員による講義

受講サイトで講義動画を視聴（各講義 約60分）

■ Aコース・Bコース・Cコースの計3コース編成です。

- ・発達障がいや精神障がいのタイプや特性に関すること
- ・様々な問題を抱えている子どものアセスメント
- ・問題に対する支援方法
- ・関係機関の機能や各機関との連携方法 など

各講義ごとの試験

テスト受験期間に
サイト上で回答

+

- ・80点以上で合格。
（選択問題）
- ・受験期間内は、
複数回挑戦可能。

各コースの修了者には、長崎大学から修了証が発行されます。

<修了要件>

受講コースの全講義を視聴および、全講義のテストに合格すること。

■ テスト受験期間：受講年度の1月31日まで。

※修了証の発行手続き上、3月末までではありませんのでご了承ください。

● 受講資格

- 高卒以上の学歴がある方
- 発達障がいのある子どもに関わっている方
(教師、心理士、保育士、療育関係者、保護者等、資格職種は問いません。)
- ご自宅にパソコン及びインターネット環境がある方

※受講お申込み後のご連絡は主にメールで行うため、申込時にPCメールアドレスのご登録をお願いしております。キャリアメールや職場のメールアドレス等は、文字化けやメール受信が正常にできない場合が多いためご遠慮いただいています。

● 各コースについて

本プログラムは、Aコース・Bコース・Cコースの計3コースで編成されています。

各講義等の詳細は裏表紙をご確認ください。

※今後、内容に変更が生じる場合がございます。情報は随時ホームページ等でお知らせいたします。

A 発達障がい基礎・アセスメントコース

発達障がいや精神障がいの理解、各アセスメントやその結果の活用方法について学びます。

初めての方は、まずAコースを受講されることをお勧めします。

- 定員 400名
- 講義数 40講義
- 年間受講料 30,000円

B 発達障がい児者への支援コース

Aコースで学んだことをもとに、学習面、対人関係面、情緒面、行動面、感覚・運動面など様々な問題への支援方法や、関係機関や保護者との連携について学びます。

- 定員 300名
- 講義数 40講義
- 年間受講料 30,000円

C 発達障がいトピックコース

A・Bコースを受講された方向けのコースです。発達障がいに見られる併存症・随伴症状や、発達障がいに関する最近の研究に基づく知見、また、特色のある支援について学ぶことができます。

- 定員 200名
- 講義数 40講義
- 年間受講料 30,000円

※各コース内の講義編成・担当講師は年度毎に変更が生じます。予めご了承ください。

※複数コースの受講申し込みも可能です。

※受講料納入期間は令和6年（2024年）4月中予定です。

（銀行振込のみ：詳細は受講可否決定後に通知いたします。）

※受講料納入期間中は、各コース10講義ずつを公開予定です。

※Aコース・Bコースは令和2年度までの旧コース（全80講義）を令和3年度に再編成したものです。

講義内容の更新や講師・コース内編成の変更等が生じています。

● 受講申込について

※令和6年度eラーニングのお申し込み受付は終了いたしました。

■ 受講生募集期間

令和5年（2023年）12月2日（土）13時
～令和5年（2023年）12月18日（月）正午締切

■ 申込方法

当センターホームページの申込フォームから受付しております。

■ 受講可否の発表

2024年2月下旬以降予定（申込者ご本人様へメールにて通知）

※受講可否は原則先着順にて選考します。

無料

本プログラム（eラーニング）の体験版を公開中です！

▼体験版▼

実際に受講する雰囲気や事前に体験することができます。

※講義動画の一部のみの公開となります。※体験にはGoogleアカウントが必要です。

<https://sites.google.com/view/kodomotrial>



令和6年度（2024年度） 講義タイトル・講師一覧（予定）

※2023年11月時点の情報です。講義タイトル、講師等が変更になる可能性がありますので予めご了承ください。

● Aコース：発達障がい基礎・アセスメントコース（全40講義）

| | |
|--|-------|
| 子どもの発達1 乳幼児の発達 ～発達症（障害）の理解の基本になる基礎的な発達心理学の知識～ | 吉田ゆり |
| 子どもの発達2 思春期から青年前期の発達 ～発達症（障害）の理解の基本になる基礎的な発達心理学の知識～ | 吉田ゆり |
| 知的発達症・限局性学習症 | 吉田ゆり |
| コミュニケーション症 | 西野章子 |
| 注意欠如・多動症 | 岩永竜一郎 |
| 自閉スペクトラム症 | 岩永竜一郎 |
| 発達性協調運動症 | 岩永竜一郎 |
| 双極性障害・うつ病 | 今村明 |
| 統合失調症とその前駆症状について | 今村明 |
| 大人の自閉スペクトラム症 | 今村明 |
| 大人のADHD | 今村明 |
| 子どもの神経症性障害 | 今村明 |
| 選択性緘黙 | 金原洋治 |
| てんかん | 本田涼子 |
| 子どもの高次脳機能障害 | 太田尾有美 |
| 保護者の心理・受容までのプロセス、保護者とのかわり | 吉田ゆり |
| 医療による対応：診断、薬物治療 | 今村明 |
| 発達障害のある子どもへの幼児期に必要な支援 | 堀裕子 |
| 発達障害児へのアセスメント概論・スクリーニング | 吉田ゆり |
| 知能検査の結果に基づく支援（Binet系、Wechsler系） | 吉田ゆり |

| | |
|---|-------|
| 認知発達検査の結果に基づく支援（K-ABC、K式） | 吉田ゆり |
| 発達検査（KIDS、遠城寺、JMAPなど） | 徳永瑛子 |
| 言語の評価 | 西野章子 |
| ASDの評価 | 岩永竜一郎 |
| LDの評価 | 増本利信 |
| 学校における合理的配慮 ～通常学級における発達症（障害）支援を中心に～ | 吉田ゆり |
| 特別支援教育の概要と新しい学習指導要領について | 岡野由美子 |
| 教育委員会の取り組み | 下田渚 |
| 通常学級における特別支援教育 | 岡野由美子 |
| 個別的教育支援計画・個別的教育指導計画 | 増本利信 |
| 通級指導教室における支援 | 増本利信 |
| 特別支援学級での支援 | 木村栄 |
| 学校における構造化の実践 ～特別支援学校（知的）高等部での取組について～ | 前田美和 |
| スクールカウンセラーによる支援 | 伊藤勢津子 |
| スクールソーシャルワーカーの役割と支援 | 宮野伸枝 |
| 保育所（園）での支援 | 吉田ゆり |
| 不登校・ひきこもりについて | 古豊慶彦 |
| ゲーム障害・依存症 | 三原聡子 |
| 子どものトラウマとその対応 | 八木淳子 |
| 行動の評価（適応行動、ADHD評価含む） | 岩永竜一郎 |

● Bコース：発達障がい児者への支援コース（全40講義）

| | |
|-------------------------|--------|
| 応用行動分析 | 高橋甲介 |
| 発達障害児の言語発達支援 | 西野章子 |
| TEACCH Autism Program® | 諏訪利明 |
| ASD児のコミュニケーション支援 | 服巻智子 |
| 感情マネジメント | 服巻智子 |
| 感覚処理の評価と問題への対応 | 岩永竜一郎 |
| 協調運動の評価と問題への対応 | 岩永竜一郎 |
| 日常生活支援（食事、排泄、睡眠など） | 仙石泰仁 他 |
| 不登校への対応 | 河田将一 |
| 発達障がい児・者の性発達と性行動 | 宮原春美 |
| 発達障がい児・者のSexuality支援の実践 | 宮原春美 |
| 読み書きの支援1（ひらがな編） | 村井敏宏 |
| 読み書きの支援2（漢字編） | 村井敏宏 |
| 見ることの支援1 | 増本利信 |
| 見ることの支援2 | 増本利信 |
| 算数の支援 | 山田充 |
| 算数障害のある子どもへの支援 | 熊谷恵子 |
| 発達障害児のための道具の工夫 | 鴨下賢一 |
| ソーシャルスキル・トレーニング | 田中悟郎 |
| ソーシャルストーリー | 服巻智子 |

| | |
|-----------------------|----------------|
| ASDに対する応用行動分析と実践 | 服巻智子 |
| ペアレントトレーニングの概要 | 徳永瑛子 |
| アタッチメント理論と発達の諸課題 | 吉田ゆり |
| 発達障害者支援センター | 岡田祐輔 |
| 医療機関としての取り組み | 松坂哲彦 |
| 児童相談所による支援 | 柿田多佳子 |
| 不登校・ひきこもりの現状 | 宮本鷹明 |
| 健診における取り組み、保健センターの関わり | 岩永竜一郎 |
| 親の会の活動、ペアレントメンターについて | 内藤貴子 奥野由美 他 |
| 当事者からのはなし | 山田隆一 |
| 発達障害者施策 | 日詰正文 |
| 福祉サービス事業について | 廣欽耕一 |
| 障害児通所支援事業所における発達障害児支援 | 宮野伸枝 |
| 保育所等訪問支援の取り組み | 太田篤志 |
| 特別支援学校における就労に向けた専門的教育 | 田淵敬朗 |
| 高等学校における特別支援教育の実践 | 上戸綾子 |
| 巡回相談 | 岩永竜一郎 |
| ピアサポートとリカバリー | 田中悟郎 他 |
| 適応行動と理解の支援 | 萩原拓 |
| 認知行動療法 | (調整中) |

● Cコース：発達障がいトピックコース（全40講義）

| | |
|---|-------|
| ADOS-2に学ぶASDの発達心理学 | 服巻智子 |
| ASD児への超早期介入 | 服巻智子 |
| 強度行動障害の理解と支援 | 井上雅彦 |
| 吃音のある子どもの支援 | 菊池良和 |
| ダウン症や染色体異常による発達の課題がある子どもへの支援 | 近藤達郎 |
| 摂食障害への対応 | 宮田雄吾 |
| LGBTの理解と支援 | 吉田ゆり |
| リストカットのある子どもへの対応 | 宮田雄吾 |
| 発達障害・愛着障害・トラウマ関連障害 | 今村明 |
| 少年犯罪について | 今村明 |
| 子どもの睡眠障害と神経発達障害 | 中井昭夫 |
| 発達障害児・者の歯科治療 | 長田豊 |
| ペアレント・プログラム | 辻井正次 |
| 発達障害のある子どもの周りへのアプローチ | 増本利信 |
| 発達障害児者への福祉行政支援 | 羽辺由紀子 |
| 児童家庭支援センターでの支援 | 高比良亮 |
| 児童心理治療施設の機能と役割、そこでの発達障害児への支援 | 宮田雄吾 |
| 発達障害児のきょうだいへの支援 | 田倉さやか |
| 子どもと大人の絆を深めるCAREプログラム | 木村一絵 |
| 知能検査の結果を支援に活かす ～WISC-IVを使った子どもの特性理解と支援 | 木谷秀勝 |

| | |
|--|---------------|
| CO-OP approach™ | 塩津裕康 |
| 読字と感覚・運動 | 高畑脩平 |
| WAVESを用いた視覚認知の評価と支援 | 奥村智人 |
| LD-SKAIPを用いた支援 | 奥村智人 |
| 発達障害のある子どもへのICT機器を使った支援 | 高橋知義 |
| 学習障害のある児童生徒への英語指導 | 村上加代子 |
| 中学校における通級による支援 | 高橋範充 |
| 高等専門学校における特別支援教育の実践 | 松尾秀樹 |
| 発達障害のある大学生への支援 | Peter Bernick |
| いじめ予防の実現を目指して | 和久田学 |
| 特別支援教育のための学校コンサルテーション | 齊藤宇開 |
| 社会参加と支援 | 赤壁省吾 |
| 発達障害のある方の就労支援 | 梅永雄二 |
| 発達障害とスポーツ | 澤江幸則 |
| 友だち作りの力を育てるソーシャルスキルトレーニング ～PEERSプログラム～ | 山田智子 |
| 余暇支援について | 加藤浩平 |
| 自閉症の人へのコミュニケーション支援～PECS®を中心に～ | 門真一郎 |
| 自閉スペクトラム症幼児への新しい支援方法 ～自然な発達の行動介入：JASPER、ESDM～ | 黒田美保 |
| 産業界から見た発達障害者支援 | 藤野昭宏 |
| (残り1講義 調整中) | |